

モーニングセミナー

なめんな! 角結膜炎

バーチャルクリニック

ランチオンセミナー

を紐解く!

～診断と治療～

なめんな! 角結膜炎 バーチャルクリニック

日時: 7月15日(日) 7時30分~8時30分

場所: パシフィコ横浜 第2会場(5F 503)

「とりあえず、目薬だしときましよう、1週間後にまた来てください」。これは日常臨床でよく聞くフレーズで先生方も必ず一度は言ってしまうのではないかと思います。しかしこのフレーズの奥底には「たかが結膜炎」という気持ちが働いているのではないのでしょうか。

しかし、結膜炎とたかをくくっていると大変困った状態になることもあります。「たかが結膜炎」ならず「されど結膜炎」。結膜炎といえども初診時に迅速・的確に診断ししっかりと治療方針をたてて診療にのぞむことが大切です。そこで今回、診断から治療まで基礎から徹底的に学び直すべく角結膜炎バーチャルクリニックを開院しました。副院長に鈴木崇先生を迎え、診察医として大学病院から堀裕一先生、総合病院から星最智先生眼科専門病院から子島良平先生、眼科クリニックから松本治恵先生をお招きしあらゆる症例に対応できる万全の体制を整えました。

本クリニックでは実際の症例をもとにそれぞれの立場から診断・治療についてご検討いただき涼しい早朝ながら熱いディスカッションを繰り広げたいと思います。会場の先生方もぜひこのディスカッションにご参加ください。本クリニックが皆様の明日からの診療をグレードアップするお役に立てれば幸いです。

目が赤い! 目やにが出る! という患者さんを相手にするレッドアイクリニックは日常臨床において必須であるため角結膜炎を的確に診断し対処することは重要です。

本院は角結膜炎を専門にする眼科クリニック。セミナー内で日常よく経験する症例から注意が必要な症例まで角結膜炎について、実際の診療の流れに沿って4人の診察医に症例検討していただき、診療方針を会場の皆様と一緒に考えようと思います。

ぜひ、当院にお越しください。



院長 井上 幸次 先生
(鳥取大学)



座長 藤島 浩 先生
(鶴見大学)



日常診療の中で、目の当たりにする事の多い「結膜炎」。そのときに果たしてこれは感染性なのか? 非感染性なのか? また治療にどの薬剤を処方しようかなど迷われたことはないでしょうか。特に感染が疑われる場合には、できるだけステロイド点眼薬は使用をしないものです。また非感染性の場合でも、特に小児の場合にはステロイドレスポンダーのことを考えるとステロイド点眼薬をできるだけ回避したくなります。そのような場合、炎症を抑えるという観点から「結膜炎」をどのように診断し治療されているのかを3人の先生方にご講演いただきます。まず最初に「結膜炎の見分け方」について岡本茂樹先生にご講演いただき治療という観点から「感染性結膜炎」について江口洋先生に、「非感染性結膜炎」について内尾英一先生にご講演をいただきます。今回のセミナーは改めて「結膜炎」を深く見つめ直す絶好の機会としてご聴講いただき明日からの診療に役立つことと考えております。ご参加をお待ちしております。



副院長 鈴木 崇 先生
(愛媛大学)



助手 石川 恵里 先生
(愛媛大学)



1診 堀 裕一 先生
(東邦大学医療センター 佐倉病院)



2診 星 最智 先生
(藤枝市立総合病院)



3診 子島 良平 先生
(宮田眼科病院)



4診 松本 治恵 先生
(松本眼科)



結膜炎の見分け方 ~感染性 & 非感染性~
演者 岡本 茂樹 先生
(岡本眼科クリニック)



感染性結膜炎の治療について
演者 江口 洋 先生
(徳島大学)



非感染性結膜炎の治療について
演者 内尾 英一 先生
(福岡大学)